



会長	山田 正
幹事	武川 毅
会報	村上 武彦 高田 次雄 森田 峯男
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2715回例会 2019. 10. 31 No.17

本日の出席率

・本日の出席率 94.1%

ニコニコボックス

- ・山田正会長 期待の新入会員、志賀昭洋会員の初スピーチにご期待申し上げます。
- ・志賀昭洋会員 初のスピーチです。自己紹介を中心にお話をさせていただきます。よろしくお願いたします。
- ・布施孝之会員 志賀昭洋会員の初スピーチを楽しみにしています。
- ・飯塚仁哉会員 志賀昭洋会員のスピーチ、楽しみにしております。
- ・佐々木崇会員 鈴木彦衛会員を歓迎して。
- ・佐藤幸一会員 志賀昭洋会員のスピーチ、大いに期待いたします。
- ・江川元徳会員 世界平和に努力した緒方貞子さんのご逝去、お祈りいたします。
- ・八谷郁夫会員 志賀昭洋会員の初スピーチ、楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 志賀昭洋会員のスピーチを聞きに、日程調整をして出席しました。よろしくお願いたします。環境保全委員会の事業にご協力ありがとうございます。資源回収も順調に行っています。11月6日の市民参加の森林づくりにもご参加よろしくお願いたします。
- ・佐藤敬喜会員 本日早退します。
- ・菅野幸一郎会員 志賀昭洋会員の初スピーチにご期待致します。
- ・菅原文之会員 志賀昭洋会員の未知のスピーチに期待して一。
- ・遠藤光則会員 志賀昭洋会員の初スピーチ期待しています。気楽にどうぞ!!

- ・岩淵正彦会員 志賀昭洋会員のスピーチに期待して。
- ・菅原慶一会員 志賀昭洋会員の初スピーチに期待します。
- ・伊藤幸子会員 本日のスピーチにご期待しています。
- ・武川毅会員以下 本日のスピーチに期待して。
佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 高橋利光会員
布施孝尚会員 富士原裕子会員 及川昭宏会員
及川富男会員 千葉正宏会員 關孝会員
後藤和人会員 及川長五郎会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 山田正会長

先週10月24日は「世界ポリオ記念日」でした。ポリオを永遠に消し去る「行動」の日として32年余りの長きに渡り、命を救うポリオ根絶活動は国際ロータリーの代名詞であり、ここでロータリーの友10月号の関連記事を改めて述べさせていただきます。

ポリオは1988年に125ヶ国、発症数35万件以上にも及びました。しかし、RI根絶活動により発症件数99.9%以上も減少させました。過去には長引く活動に対し「根絶は無理」「他にやるべき活動がある」などの様々な意見がありました。

RIは「世界への約束は必ず守る」との信念の下、粘り強い活動を進めてきました。その結果、25億人の子供達への予防接種で1,800万件のマヒ発症を防ぎ、沢山の国が次々とポリオフリーとなりました。現在ではアフガニスタンやパキスタンなど一部紛争地域でのみ、第1種野生株ポリオウイルスが見られるのみとなりました。

ポリオが地球上から消滅すれば、人の感染症で「天然痘」に続き2番目の感染症の消滅となり、ロータリー活動は世界中で絶賛され、何よりも大切な子供達（我が孫達）の命を危険から救うことが重要で、世界

を結び繋ぎ続けることで、ポリオ根絶が実現出来るとRI会長は結んでいます。以上、10月のポリオ撲滅月間について述べさせていただきました。

先日、丸森RCの半澤善輝様（社会奉仕委員長）より、「支援物資のバケツとタオルが到着しました。大変ありがとうございました。」とお礼の連絡が届きましたのでご報告いたします。

幹事報告 武川毅幹事

- ・丸森RCより、支援に対するお礼状が届く尚、来週の木曜日まで、支援物資（タオル・ぞうきん）を集めます。ご協力お願いします。
- ・東京オリンピック・ポーランドボートチームを応援する会より、後援のお願が届く

各委員会報告

- ・環境保全委員会（阿部泰彦委員長）
市民参加の新たな森林づくりのお知らせ
とき 11月6日(水) 10:00~12:00
ところ（集合場所）登米市米川小学校体育館前
植樹場所 東和町米川字東綱木地内
植樹樹木名 ヤマザクラ、ドングリの種まき
参加協力希望者は、参加申込書に記入の上ご提出下さい。
資源回収について
11月の回収日は後日お知らせします。回収日なくても随時ご連絡があれば回収に参ります。
- ・ポーランドボートチームを応援する会（高橋利光代表）
設立準備会を11月5日(火)、午後6時30分より、迫公民館で開催致します。後援団体としてご協力いただきたくご案内申し上げます。

今週のスピーチ

志賀昭洋会員

今年7月に入会いたしました、ヤマダ地所の志賀と申します。初のスピーチです。自己紹介を中心にお話したいと思います。よろしくお願致します。

今年35歳になりました。まだ若手と言われておりますが自社を代表して来ておりますので、責任感をもって頑張っていきたいと思っております。

北方の生まれで、兄、妹2人の4人兄弟です。子供の頃は活発で親、特に祖母にはよく叱られておりました。よく暗い物置に閉じ込められて泣いていたのを今でも覚えております。私のことを思ってくれる優しい祖母と両親に育てられました。北方小学校に入学し6年間通いました。

小学校時代は、習字、そろばん、学習塾、水泳、ラグビーと休む暇がないくらい多くの習いごとをしており、ほんとうに多忙な日々を過ごしました。字を書くのは苦手でも今でも習字を習っていたとは思えないほど下手です。ラグビーに関してもルールが今でも全く分からず難しいスポーツだなと思っており、習えばいいと言うものではありません。当時はやっていたファミコンは、親にすると言われてながらもしていました。

佐沼中学校に入り、バスケットボール部に入り汗を流しました。きつい練習で同級生が次々とやめていく

中で、当時佐沼中学校の教諭であった及川長五郎会員にも指導を受けながら、なんとか3年間楽しく続けることが出来ました。又、生徒会長選挙でクラスから1名出さなければならぬところ、誰も出馬しないために私は出馬を決意をし、8人の候補者の中で何故か当選してしまい、生徒会長を務めることになりました。本意ではなかったところではありますが、色々な生徒会活動をする中で貴重な経験であったと考えております。

仙台の東北学院高等学校に進学しました。新しい経験をしたいという理由での進学でしたが、勉強のハードルが私にとって高いもので、人生の中で一番勉強をする時間を設けて受験をし何とか進学することが出来ました。多くの新しい仲間との出会いがあり、今でも年に数回家族ぐるみでお付き合いをさせていただいております。学業成績はあまり芳しくありませんでしたが、一応大学の推薦条件を満たして東北学院大学法学部に進学することが決まりました。

大学時代は、ほんとうによく遊びました。当時大学は「人生の夏休み」という風に言われており、それを本当に体現したものであったなあと感じております。アルバイトと遊びを繰り返して留年寸前まで追い込まれましたが、何とか4年で卒業することが出来ました。

大学を卒業するに当たって、自分が何もやりたいことがないということに直面いたしました。将来に対する展望を全く考えておりませんでした。おじの山田直志が不動産業をやっておりましたので、その方面の仕事をやってみようと思ひ、就職活動の結果、東京の学生マンションの管理会社に勤めることを決意し、不動産業の道を歩むことになりました。

田舎者の私にとって東京は、遠くて憧れの都市ではありませんが、現実には非常に過酷なものでした。不動産業という職業は仕事の時間が守られることがなく、3月などは休みもなく限界だと感じていた上に、パワハラ等で3ヶ月が過ぎた頃体調が悪くなり鬱病の一手手前の状況に追い込まれ、幼少期の活発で明るい姿は見られなくなりました。研修期間が終わり配属がかわったため、何とか3年間続けることが出来ました。しかし、東京での仕事を一生やっていくことを断念し、退職をしました。

次に教員の道を選び、教員免許取得のために東北学院大学に行き、必要な科目の単位をとりました。大学時代勉強をしてこなかった私にとって、非常に新鮮で大学ってこういう所だと卒業して思いました。

最初は仙台市内の中学校に非常勤講師として学校という職場に勤めました。この中学校は荒れに荒れた学校でした。ありとあらゆる問題がありました。教員としてのやりがいもありました。次の年に小さい中学校に転勤となりました。特別問題もなくとても平和な学校でした。両極端な学校での経験をいたしました。

非常勤講師は不安定ですので、そろそろ安定した仕事に就かなくてはと思っていたところ、今の会社の前社長に声を掛けられ、今の職場に来て頑張っているところです。

— 登米市の展望についての話もありましたが、紙面の都合上割愛させていただきます。